



ふくしま

児童数 449名

文責 校長 柿原 敬道

【たくましく生きる『ふくしま』の子どもの育成】

『ふ』ふくしまを愛する子ども 『く』くり返し体をきたえる子ども
『し』しっかり考え、伝え合う子ども 『ま』まわりを思いやるやさしい子ども

早いものです。今日から2月です！

つい先日正月明けの全校集会をしたような気がします。早くも1月が終わりました。今日から2月です。「一月は行く。二月は逃げる。三月は去る。」といった言葉がありますが、2月が逃げるように過ぎないように、一日一日を充実させていきたいと思えます。6年生は、残り34日ぐらいいなりました。

来週は、持久走記録会を行います。この土・日でインフルエンザ等にかからないように【手洗い・うがい】の励行をお願いします。

朝、登校中の子ども達と話していると「校長先生、持久走がきつくてたまりません。」と言ってくる子がいました。「頭の中で歌を歌いながら走ったらどうですか？ドラえもん歌なんかいいですよ。」と答えると、「頭の中で音楽をかけてもその音楽がグチャグチャになってしまってだめです。」だそうです。苦しくても一生懸命にがんばって走っているのだらうと思います。本番では、リズム良く走れたら少しは楽にならないかなと思います。

心の鬼たいじ！

去年も書きましたが、まもなく節分です。節分豆の「ま」は魔をさし、自分の心の弱さをさします。豆の「め」は滅亡を意味し、弱い心をなくすことを意味しているそうです。私たちには、だれにも弱い心があります。『なまけ鬼』『いたずら鬼』『ごまかし鬼』『あまえ鬼』『さぼり鬼』『わすれもの鬼』など、住みついでいないでしょうか。節分の機会に、自分を振り返り、素直な気持ちになって、よくないところを直そうと決意することが本当の意味の「心の鬼」退治になります。自分の心の中に潜む「心の鬼」をしっ



かり追い出したいものです。去年退治したオニが、いつの間にやら心の中に帰って来ていたり、新しいオニが気持ち良さそうに心に住み着いていたりしたら困ります。節分が季節の節目だけではなく、心の節目にもなってほしいと願います。

3年2組 プログラミング教育

24日に、3年2組の理科の授業を先生達全員で参観しました。学級担任の森田先生によるプログラミング的思考を取り入れた理科の研究授業でした。



3年2組の子ども達がフローチャート図を活用して、身の回りのいろいろな物について[鉄][鉄以外の金属][金属でないもの]に、的確に分類していくことができていました。

AI(人工知能)やIOT(もののインターネット)等が、これから生活の中にどんどん入ってくると言われています。これからの時代を生きていく子ども達にとって必要とされるプログラミング教育のあり方について、全職員で研修を深めました。

2年生 親子ふれあい

25日(金)、2年生が、スライマンに来てもらって楽しく親子ふれあい活動を行いました。子どもだけでなく、大人の皆さんも楽しそうでした。



【お知らせ】

和田悠佑教諭が、一身上の都合により1月31日付をもって退職されました。4年1組の学級担任は、谷口千奈美教諭が受け持って指導に当たっていきます。急なことで驚いていた4年1組の子ども達もいましたが、和田先生のこれからのご健勝を祈念しながら、学級内でお別れ会をしました。